

そうだ、鶴見線乗ろう

2年 JPX

1. 概要



<鶴見駅 3,4番線ホームで撮影>

JR 鶴見線は、鶴見駅（神奈川県横浜市鶴見区）～扇町駅（神奈川県横浜市川崎区）の本線と2つの支線を中心に構成される。その合計距離は9.7kmと短く、駅間を容易に歩ける。京浜工業地帯のど真ん中を走るため、線路の片側もしくは両側に**無数に連なる工場を臨むことができる**。その車窓は電車通勤・通学慣れした我々には異質で、新たな発見に**ワクワク**すること間違いなし！しかし「**労働者の通勤路線**」であり、朝夕に多く昼間に**少ない本数設定**や**朝夕に満員電車**となることが残念である。一部の駅は本数が極端に少ないなどの特徴を有し、「**秘境駅**」とも呼ばれることがある。

2. 車両



<205系> ※系・・・個々の車両を管理するための区分

ラインカラー：**黄色**

帯の色：**黄色**・**スカイブルー**

車両の運用：3編成9本（計27両）

編成番号：T11～T19（先頭車両の前面左上に記載）

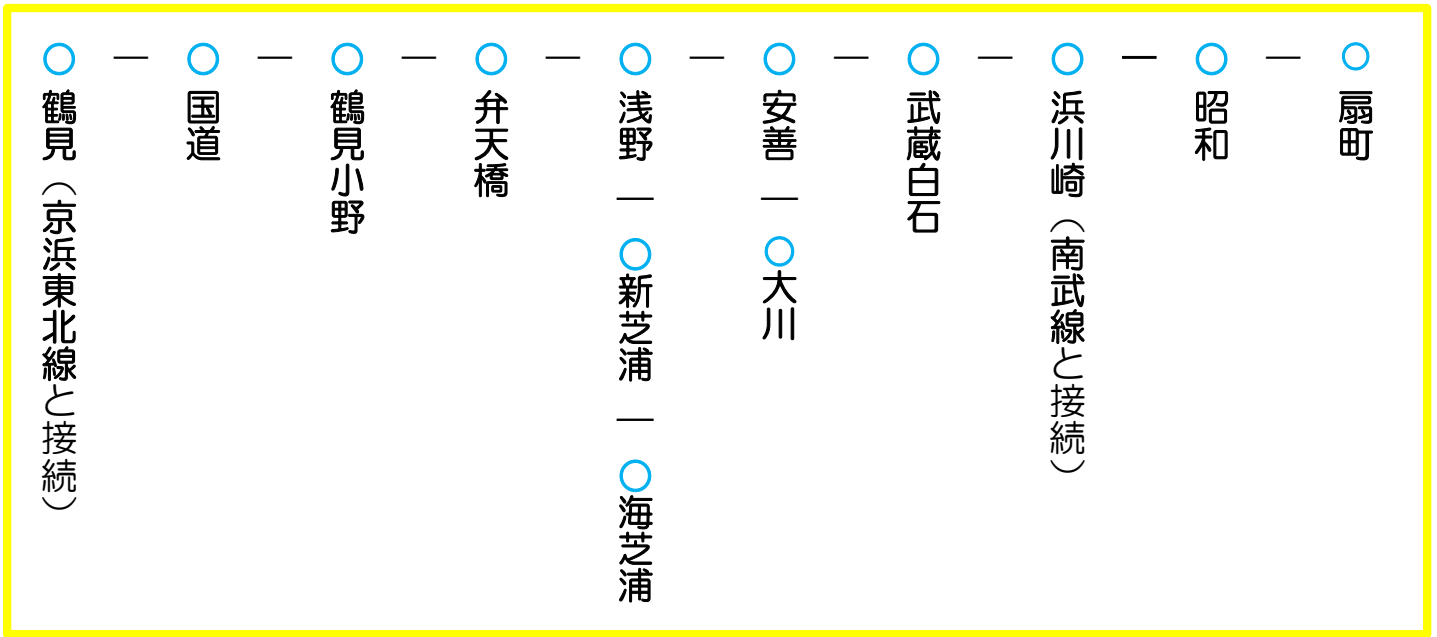
駅ナンバリングの路線記号：J1

車両は元山手線、元埼京線の間車（先頭車両以外）を転用し改造したものである。鶴見駅寄りの2両は元山手線、扇町駅寄りの1両は元埼京線である。なお、前者は、側面の扉の窓が小さく「小窓車」、後者は側面の扉の窓が大きく「大窓車」と呼ばれる。（写真左下）



7人がけのロングシート（進行方向に平行に設けられた座席）、優先席と車椅子スペース、丸型のつり革が設けられている。車内広告は充実している。海芝浦駅で撮影。（写真右上）

3. 路線図



4. 訪問する価値がある駅紹介

○鶴見 「(朝夕は) 通勤・通学客で賑わう駅」



- ・同じJRだが、乗換えで改札を通らなければならない。(元々、鶴見線が私鉄で、別の改札があった名残+不正乗車防止)
- ・4番線はラッシュ時のみ使用する。
- ・開業当初の面影が残っている。「アール・デコ」調の内装。

○国道 「厳かな雰囲気漂う駅」



- ・高架駅。簡易改札がある1階はシャッター通りで、かつては賑わっていたそう。
- ・戦時中の米軍による機銃掃射の弾痕が今なお残る。(写真中央)
- ・「アール・デコ」調の内装。
- ・写真ではわかりづらいが、実際、1階は(薄)暗く、不気味な感じがする。
- ・線路上には草が繁茂している。



国道15号線(第一京浜国道)と交差するため「国道」と命名。

○浅野「特殊なホームを持つ駅」

(左上下) 1~4 番線ホーム (右) 駅舎



<ホームと行先>

- 1: 安善・扇町
- 2: 弁天橋・鶴見
- 3: 海芝浦
- 4: 弁天橋・鶴見

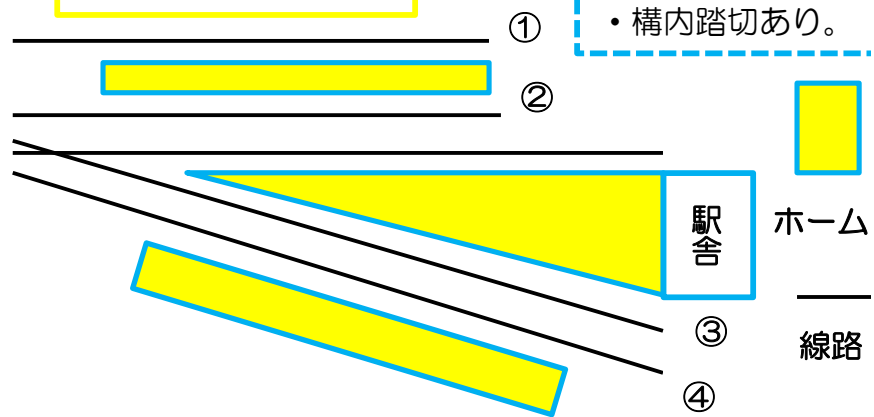
・周囲は 360° 工場地帯。工場への通勤客の多くが利用する駅。

・簡易改札機、券売機、トイレ、自販機を設置。

・構内踏切あり。



ホームのイメージ図



○海芝浦「駅から出られない駅」

夜景が綺麗なことで人気



・「関東の駅百選」の一つ。真横が海（京浜運河）で景色が抜群に良い。特に横浜ベイブリッジの姿が圧巻である。隣接する「海芝公園」（9:00-20:30）が無料開放される。

・改札が「東芝京浜事業所」直結で、社員以外は出場不可。ただし、切符や簡易改札機での運賃の支払は必須事項！なお、隣の新芝浦駅から東芝の私有地で、その撮影（東芝の建物等）は禁止！

・浅野から海芝浦にかけては、基本的に東芝の社員しか乗ってない。

・朝夕以外の本数が非常に少ないため、電車に乗り遅れることが無いように注意が必要。

○大川「工場に囲まれた味わいある駅」



- 平日9本、土曜休日3本、朝夕のみ。まさに通勤客用の本数設定で、**鶴見線で最も訪れづらいだろう。**
- かつて、貨物を扱っていたスペース（側線）は廃止された今、雑草が生え放題のまま放置されている。
- 駅舎の外観はさびや汚れが目立つが構内はきれい。先端は鉄板でホームが延長されている。
- 周囲には工場（日清製粉、三菱化工機等）が密集している。鶴見火力発電所跡を示す碑がすぐ近くにある。
- 安善一大川間の橋梁には戦時中の米軍による機銃掃射の弾痕が今なお残る。

○浜川崎「乗り換えに戸惑う駅」



- 鶴見線の駅舎と接続する南武線の駅舎（写真左）が離れているため、**乗り換え時には切符を回収箱に入れない、Suicaを改札機にタッチしない**などの注意が必要である。なお、これは、鶴見線が昔、私鉄で別の駅だった名残である。
- 鶴見線で2つある出口のうち、南側に行く方はJFE スチール東日本製鉄所専用出口のため、出ることができない。
- 鶴見線は鶴見行が多く、扇町行は少ない。又、南武線は尻手行が少ないことから、訪れる際は時刻に注意する必要がある。
- 南武線と鶴見線は少し離れたところで線路がつながっているが、貨物専用である。

5. 沿線の風景について

- 鶴見～鶴見小野 : 住宅地や商店街、ビル、幹線道路が広がる。自動車、人は共に多い。
- 鶴見小野～弁天橋 : 首都高と産業道路を境に工業地帯が姿をあらわす。車両基地がある。
- 弁天橋～扇町 : 工業地帯を縫うように走る。浜川崎までは大企業の巨大な建物が密集する。その先は鉄塔や倉庫、事務所などの建物、走るトラックが多い。

6. 工場地帯の写真 ※浜川崎～扇町で撮影



7. 訪問の際の注意

- 工場とトラックが多いため、安全への配慮と連絡手段の確保が必要。
- 人とコンビニが少ないため、食料の確保・トイレの場所の確認が大切。
- 工場の撮影はできるだけ控える。特に、撮影禁止の地域は注意が必要。
- 自動車・労働者の邪魔にならないように移動する。

6. 参考文献

- 今尾恵介監修『日本鉄道旅行地図帳 4号 関東2』（新潮社,2008年）P7, P24, P28
- http://www.geocities.jp/hokarida/02_tsurumi_line/ts08-001.html（閲覧日 2017.8.22）